



ポット苗を入手した場合は、大きめのポットやプランターに植え替えて暖かい場所に置き、伸びてきたツルを切り取って植えます。わき芽が出てくるので伸びたらまた切り取って植えます。1つのポット苗から10〜20本の苗を採ることが出来ます。

植えたら水をやって、根付くまで乾かさないように気を付けます。風が強いと苗が乾燥して枯れたり、黒マルチに直接あたって干からびることもあるので、不織布や新聞紙を上からかけておくのが良いですよ。根付いて芽が伸びてきたら外します。

節が多い大苗の時



●水平植え  
苗は地面と平に。

苗が小さい時



●舟底植え  
舟底のように苗の両端は、やや上向きに。

苗が短い時やマルチ栽培、早取りしたい時



●斜め植え

霜が降りる前に収穫しましょう。ツルは根元から切り取って片付けておくか収穫しやすいです。スコップやクワでイモを探つてからツルを引っ張るとうまく掘れま

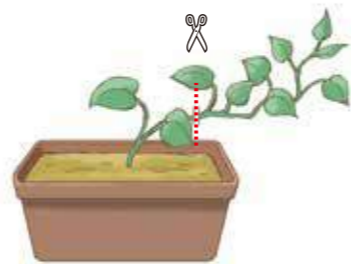
収穫してすぐ食べるのとあまり甘くありません。2週間〜数カ月経つと甘くなります。風通しのよい日陰で保存しておきましょう。寒さには弱いので、冬は段ボール箱に入れて毛布を掛けるなどして10℃以下にならないようにします。

収穫・保存

葉色が淡いようなら少量追肥して土寄せをします。そうでない場合は追肥するほどの心配があるので追肥しません。

ツル返しは行わない方がイモが太りやすいともいわれるので、しなくてもよいです。

管理



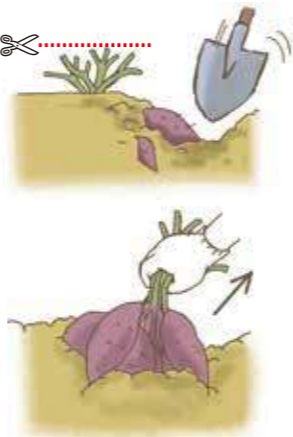
ツルが伸びて7〜8節になったところで根元に葉を2〜3枚残して切り取る。

オススメ品種

- 「べにはるか」  
しっとりした食感とすっきりしているのにしっかりした甘さ。
- 「シルクスweet」  
絹のようななめらかな舌触りと上品な甘さ。
- 「ハロウンスweet」  
濃いオレンジ色がβカロテン豊富。甘い。
- 「玉豊」  
干しイモ用の大型の白いサツマイモ。

お米の半分ほどのカロリーと炭水化物の量を持っているサツマイモ。有名なのは食物繊維ですが、じつは含量としてはピーマンと同じで、特に多いわけではないです。ただし、サツマイモは一度に食べる量が多いので、主食の代わりにもなり、食物繊維もたっぷり取れるのです。注目成分は、輪切りにしたときに出てくる白い汁に含まれている「ヤラジン」です。食物繊維が持つ作用に便秘の改善がありますが、ヤラジンは腸に作用し便を柔らかくする効果があり、便秘解消を後押しします。

栄養



オススメ資材

「ダントツ粒剤」 (1kg) 1,220円(税込)  
(3kg) 3,400円(税込)

田植え前に稲の苗に使うことでおなじみのダントツ粒剤。サツマイモに大きな傷をつくるコガネムシの幼虫対策に、うねにまいて土と混ぜてから植え付けます。キャベツやハクサイ、ブロッコリー、キュウリ、ナス、トマト、ミニトマト、ピーマンなどには、植穴に規定量を入れ土と混ぜてから、苗を植え付けます。

〇お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までお気軽にどうぞ。



ほうさくClub!

第201回  
今月は

「サツマイモ」に挑戦!

★これがサツマイモのスケジュールだよ。Calendar

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|    |    |    |    |    | 定植 |    |    |    | 収穫  |     |     |

- 施肥基準 (1㎡あたり・一例)
- 苦土石灰50g
- 堆肥0.5kg
- BBN552号20g
- BB追肥N30号10g

文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



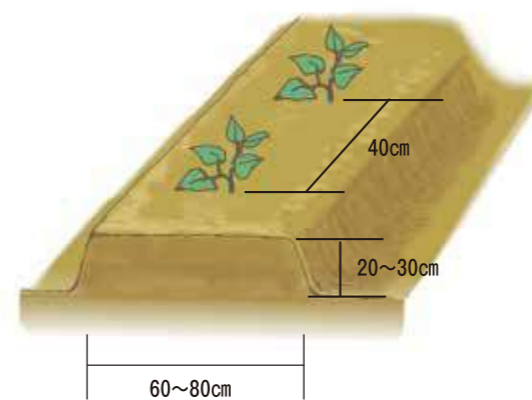
肥料が多すぎるとツルばかりが伸びてイモが付かない「ツルばかり」になるため、前作がある場合は肥料をやらすにうねだけ作ります。土壌酸性度は酸性気味でも育つので、前作に苦土石灰を施してあれば、今回は入れなくても良いですよ。鶏糞などの有機肥料が多く入っている場合は、肥料を入れなくてもつるのぼけになることがあります。

畑の準備

江戸時代、享保の大飢饉(きょうほうのだいききん)の際に八代将軍徳川吉宗に命ぜられた青木昆陽が、飢饉対策にサツマイモ栽培を広げた話は有名です。茎を挿すだけで根付き、やせた土地を好み、しかも成長が早く保存もきくサツマイモは、全国各地で栽培され、その後も幾度となく飢饉で多くの命を救いました。

原産地はメキシコあたりの砂漠地帯。紀元前800年から1000年あたりに南米アンデス地方で栽培されていました。大航海時代にヨーロッパに持ち込まれましたが、暖かい地域を好む作物のため、植民地で栽培されました。1600年ごろ中国から琉球へ、琉球から鹿児島へ伝わり、鹿児島から関東に入ったため、「甘藷(中国の呼び名)」「唐芋(中国の芋という意味)」「琉球芋(沖縄の芋という意味)」「薩摩芋(鹿児島芋という意味)」と呼ばれました。

植え方は、苗の状態などによって様々ありますが、葉が出てきている部分から根が出てイモが付くので、茎をしっかりと土に入



堆肥を入れて深めに耕し、幅60〜80cm、高さ20〜30cmのうねを作ります。水はけを良くするため高いうねにします。マルチはしても良いですが、水はけが悪い場所はないほうがよく育ちます。

定植

植え付け前夜に、買って来た苗の切り口を水につけて「コン」をさせておきます。苗は40cm間隔に、うねに平行に置いて斜めに植えます。